

20 代女性／死亡事故

私は8年前に交通事故を起こし、1人の大切な命を奪ってしまい逮捕され、免許の取消処分を受けました。私は、本当にあってはならない事をしてしまったのだから当然の処分…いえ、今思えば軽い処分だったと思います。

釈放された私を迎えてくれた母の目から溢れた涙を忘れる事はありません。私の起こした事故でどれだけの人が傷付いたか、沢山の事を考え、反省し過ぎてきました。

事故の原因は、私の「運転に慣れた」気持ちからの不注意です。

免許を取得してから2年が経過する時の事でした。普段どおり、軽い気持ちで運転していた私は、道路を横断中の歩行者に気付くのに遅れ、避けることもできずにぶつかってしまいました。

倒れている歩行者を見て、初めて自分の愚かさに気付き、本当に情けなく、恥ずかしく、とても悔しく思いました。

事故の後、私は「誰の車に乗っても危険を感じる」といった気持ちが頭から離れず、運転がとても恐ろしく、怖くなってしまい「8年間」という期間に渡り運転することを避けてきました。

そんな私が今回、取消処分者講習に参加したのは、「事故から止まっていた時間を動かしたかった」「この講習で何かが変われば、自分を見直そう」と思ったからです。私なりのけじめのためです。

事故後、知人に「運が悪かった」と言われて、少しほっとする自分がいました。しかし、今回の講習で私自身の足りない部分や、怠っていた部分を数多く取り上げられ、講師の話を聞く度に「事故は運じゃない。自分の落ち度であった。」と痛感しました。

講習で受けた適性検査の結果、自分が人並みだと思っていた能力は、他の人よりも気を付けなければならない項目でいっぱいでした。原因は、ここに現れていたのかも知れません。決して目を逸らしてはならない結果だと思います。

最後に、私が気をつけていれば、今回の事故は起こらなかったし、悲しむ方も居なかったのです。「私の奪ってしまった命はもう二度と戻らない。」そして、遺族の悲しみは計り知れないほど大きい。傷付いた人の心は直ることはないのです。私はその事を噛み締め、亡くなられた方、そしてご遺族を思い、今日も明日も…今後の運転にゆとりを持ち、初心を忘れずに生きていこうと思います。

「誰も傷つけない運転をするために。」講習で本当に沢山の事を学びました。ありが

とうございました。「楽しさの裏には危険がある」事を忘れずにいたいと思います。